

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ひよこの家保育園
所在地	東京都品川区大崎4-6-3ファミネスハイツ第2

## 1 活動のテーマ

植物

<テーマの設定理由>

「自分の物」として植物を育てる機会を作ることで、子ども達がどのように変わっていくか、又成長過程を友だちや保育士と一緒に観察し、知ることによって興味、関心を引出し、育てることを楽しむ

## 2 活動スケジュール

5月初旬 ヒマワリの種まき、さつま芋の苗植え  
散歩後やお迎え後に水やり  
8月下旬 手型、足型でヒマワリ作製(壁面に飾る)  
10月下旬 さつま芋収穫  
11月初旬 焼いもパーティー  
12月 クリスマス会でプロジェクターを使って活動内容放映予定

## 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・さつま芋の苗、ヒマワリの種、プランター、子ども用ジョウロ、肥料、自分のヒマワリが分かるマーク
- ・ヒマワリ製作用、絵の具、模造紙等
- ・さつま芋の絵本
- ・プロジェクター

## 4 探究活動の実践

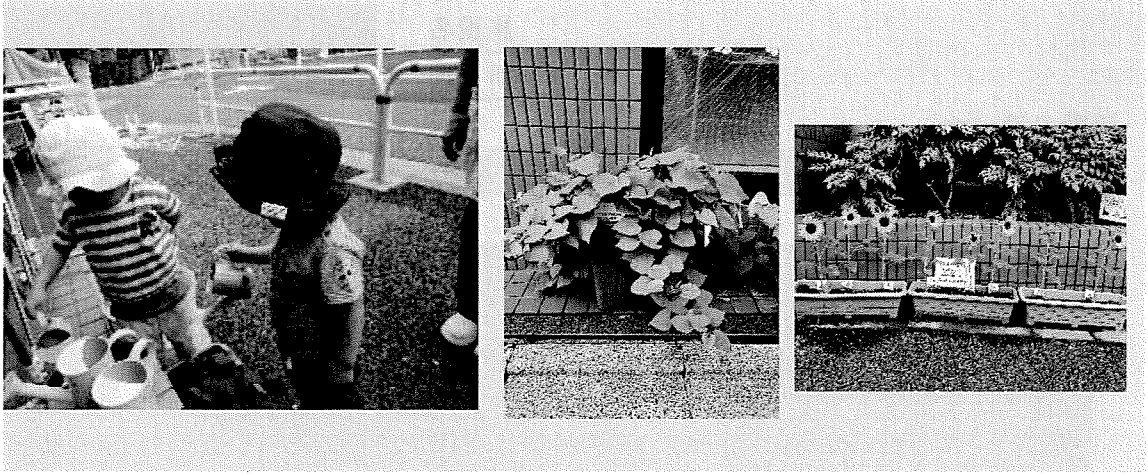
<活動の内容>

ヒマワリは、1人1本自分のものとして、マークを植えた所の近くに立て札として立て、毎日散歩後や夕方に水をあげた。ヒマワリ開花後、模造紙を大きくつなげた物に黄色の絵の具で、手型、足型をしてヒマワリの花を製作した。さつま芋はみんなで育て、ヒマワリと一緒に水をあげた。保育の中で絵本を読んだりしてより理解を深められるようにした。最後に活動内容報告上映会を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



## 5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分のひまわり、みんなのさつま芋として毎日世話をする中で、他の植物や虫などにも目が行くようになり、散歩で見つけて話題にすることが増えた。土が乾いてるのに気付いて夕方水をあげてから帰る子もいて、保護者も一緒に成長を楽しみにしていた。通り沿いに置いていることもあり、近所の方や子ども達も気に掛けてくださった。